



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 491号

2016. 1. 15

発行責任者

岸田義典

目次

2016

Vol. 1

- Agritechnica 2015 視察
(株)新農林社社長 岸田義典氏……………2
- ドイツ DLG 主催ツアー
(株)新農林社社長 岸田義典氏……………14
- 国別輸出入 (2015年11月)……………18
- WORLD NEWS……………23
- EVENTS CALENDER……………24

Agritechnica 2015 視察

(株)新農林社代表取締役社長
岸田義典 氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 491 回海外農業機械事情報告会を平成 27 年 12 月 18 日(金)に開催した。講師は、(株)新農林社代表取締役社長(国際農業機械化研究会理事長)の岸田義典氏。同氏は、11 月 10～14 日の 5 日間、ドイツ ハノーバーで開催された Agritechnica 2015 を視察。世界最大規模を誇る同展示会の模様とともに、同展示会にて表彰されたメダル機種について報告した。

要旨は以下の通りである。

2015 年 11 月 10 日～14 日の 5 日間(プレビュー日は 8・9 日の 2 日間)、ドイツのハノーバー市で DLG ドイツ農業協会主催による世界最大級の農業機械展示会「アグリテクニカ 2015」が開催されました。今回は、“人、テクノロジー、イノベーション—農業技術の未来—”をテーマに、最新技術

のほかに、データ管理やサービス、そしてスマート農法にも焦点を当てていました。小型農業ロボットの試作品や、トラクタやコンバイン、各種作業機等の自動化や情報化、インテリジェント化された新製品の展示が目立ち

ました。例えば、Machine of the year 2016 を受賞したクボタグループの Kverne land 社の 2500 i-Plough をはじめ、SILVER MEDAL 受賞の LEMKEN の Setting the point of draft on semi-mounted ploughs や John Deere TruSet™ implement control 等、GPS 誘導

と電子操作技術を使った精密農業に加え、センサ技術による情報収集システムを駆使した自動化技術 Agriculture4.0 も紹介され、世界の農業の技術革新を牽引し、新たな発想を提供する場となりました。

出展社数は 52 カ国から 2,907 社(海外 1,627 社)で、海外からの出展が全体の 50% を超えました。

ここ 10 年の動向をみても、33% から 52% と海外組が大きく伸びています。日本からは、クボタ、ヤンマー、キセキのほか、IHI スターやサンエイ工業、キャニコム、コマツ等が出展していました。また、部品メーカーで MSK や KAYABA が出

展。来場者は 124 カ国から 45 万 1,000 人を記録。海外からの来場者は 10 万 4,000 人でした。展示スペースは 39 万 3,149 m² と広大な展示会です。

Agritechnica 2015 会場風景

